

平成30年度9月補正予算の概要

平成30年9月
総務部財政課

平成30年度9月補正予算の主な事業

- I 7月豪雨災害への対応として、被災者の生活再建支援等に加え、社会基盤等の復旧を加速するほか、県民の安全・安心を確保するため、県独自の緊急防災・減災対策（避難道路や河川、砂防施設等の整備、河川の氾濫防止対策）を積極的に推進**
- II 国際交流・観光やスポーツ・文化の振興をはじめ、商工業・農林水産業の振興、地域医療等の充実など、地方創生のための交付金も活用し、当面する課題に対応**

1. 7月豪雨災害への対応： 20億5,650万円

| | | |
|------------------------------------|-------------------|-------------|
| (1) 被災者の生活再建支援等 | 7億9,150万円 | (注：◎は新規施策分) |
| ① 住家被災世帯に対する県独自の生活再建支援の追加 | | 7億7,795万円 |
| ◎ ② 広域処理を行う災害廃棄物の運搬支援 | | 1,355万円 |
| (2) 社会基盤等の復旧対策 | 11億6,907万円 | |
| ◎ ① 市道や農地・農業用施設の災害復旧事業の受託による早期復旧支援 | | 10億5,530万円 |
| ② 自然公園施設の災害復旧 | | 1,416万円 |
| ③ みかん研究所など県有施設の災害復旧 | | 9,961万円 |
| (3) 災害初動対応の検証等 | 8,249万円 | |
| ◎ ① 今回の豪雨災害における初動・応急対応に関する検証 | | 1,529万円 |
| ◎ ② 市町が行う災害廃棄物処理対策マニュアルの作成支援 | | 220万円 |
| ◎ ③ 肱川の洪水浸水想定区域の事前調査や河川への簡易型水位計の設置 | | 6,500万円 |

2. 県民の安全・安心確保対策の推進： 50億1,350万円

| | | |
|---------------------------|-------------------|------------|
| (1) 県単独緊急防災・減災対策事業 | 50億1,350万円 | |
| ① 緊急輸送道路等の整備 | | 25億4,300万円 |
| ② 河川、海岸、港湾施設の改修 | | 11億2,430万円 |
| ③ がけ崩れ防災対策の促進 | | 1億8,270万円 |
| ④ 土砂災害を防止する砂防施設の整備 | | 7億5,000万円 |

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| ⑤ 河川の氾濫を防止する河床掘削の推進 | 4億円 |
| ◎ ⑥ 耐震シェルター設置等により木造住宅の耐震化を促進する制度の創設 | 1,350万円 |

3. 当面する課題への対応： 44億8,466万円
 <<国民健康保険事業特別会計 3,243万円>>

- | | |
|---|-------------------|
| (1) 国際交流・観光の振興 | 1億8,543万円 |
| ◎ ① インバウンドの誘客促進を切り口としたデジタルマーケティング活用モデルの確立 | 9,588万円 |
| ◎ ② G20愛媛・松山労働雇用大臣会合の開催準備 | 2,174万円 |
| ③ チャーター便の支援による台湾との観光交流促進 | 3,576万円 |
| ④ 話題性のあるイベント開催などによるとべ動物園の魅力向上戦略の推進 | 3,205万円 |
| (2) スポーツ・文化の振興 | 1,924万円 |
| ① オーストリア代表スポーツライミングチームの東京オリンピック事前合宿受入体制の構築 | 284万円 |
| ◎ ② 東京オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成するためのオリ・パラ教育の推進 | 316万円 |
| ③ 愛媛マラソン大会への支援 | 324万円 |
| ◎ ④ 愛媛国際映画祭実施に向けたプレイベントの開催 | 1,000万円 |
| (3) 商工業・農林水産業の振興 | 20億3,436万円 |
| ① 中小企業者の資金繰り支援（融資枠50億円拡大） | 20億円 |
| ◎ ② 三島川之江港への新たな荷役機械導入に向けた基本設計 | 1,410万円 |
| ◎ ③ 柑橘類の流通段階での腐敗を抑制するための抗菌性のある果実袋や段ボールなどの開発 | 829万円 |
| ④ 新たな森林管理システムの導入に向けた事前準備の支援 | 1,197万円 |
| (4) 地域医療等の充実 | 3,964万円 |
| ① 手術技術向上のための研修用医療機器整備の支援 | 2,214万円 |
| ◎ ② AIを活用した特定健診受診勧奨の実施 <<国民健康保険事業特別会計>> | 1,750万円 |

予算規模

- | | | |
|-------------|-------------|--------------------|
| ◆ 一般会計補正予算額 | 115億5,466万円 | 【累計 7,038億8,218万円】 |
| ◆ 特別会計補正予算額 | 3,243万円 | 【累計 2,880億2,953万円】 |

県独自の緊急防災・減災対策

- 1 今回の7月豪雨災害などを踏まえ、県民の安全・安心を確保するため、道路の安全対策や砂防堰堤の整備、河床掘削など緊急に行うべき県独自の防災・減災対策を積極的に推進
- 2 当初予算と合わせた予算額は、前年度9月補正後を上回る規模を確保 《対前年度5億円の増》

29年度：135億円

30年度：140億円

対前年度 +5億円 (伸び率+3.4%)

《9月補正》

県民の安全・安心
確保対策 47億円

- ・道路・河川整備など 35.6
- ・砂防、がけ崩れ防災 8.2
- ・河床掘削 3.0

《当初》

防災・減災強化枠
88億円

- ・防災・減災対策事業 42.0
- ・警察署の建替、
私立高校、私立幼稚園の
耐震化の促進など 46.0

※県立学校耐震化(47億円) 除く

《9月補正》

緊急防災・減災対策

50億円

《当初》

防災・減災強化枠
90億円

- ・防災・減災対策事業 43.1
- ・警察署の建替、
私立高校、私立幼稚園の
耐震化の促進など 46.2

◆7月豪雨災害を踏まえた 対策に重点

- ・道路安全対策や河川、
海岸、港湾施設の整備など
(36.7億円)
- ・砂防やがけ崩れ防災対策
(9.3億円)
- ・土砂の堆積が著しい箇所
の河床掘削 (4.0億円)
など

平成30年度9月補正予算の内訳

一般会計 歳入予算

| 区 分 | 補正予算額 | 備 考 |
|-----------|-------------|--------------------------|
| 国 庫 支 出 金 | 1億6,955万円 | 地方創生交付金 など |
| 繰 入 金 | 9億2,070万円 | 財政基盤強化積立金繰入金 など |
| 繰 越 金 | 28億9,165万円 | 決算剰余金 |
| 諸 収 入 | 30億5,530万円 | 中小企業振興資金貸付金、受託事業収入 |
| 県 債 | 43億6,900万円 | 県単独緊急防災・減災対策事業への充当予定額 など |
| そ の 他 | 1億4,846万円 | 土木費負担金 など |
| 合 計 | 115億5,466万円 | |

一般会計 歳出予算

| 区 分 | 補正予算額 | 備 考 |
|-------------|-------------|-------------------|
| 投 資 的 経 費 | 62億8,576万円 | |
| 公 共 事 業 | 9,131万円 | 洪水情報提供体制強化事業 など |
| 県 単 独 事 業 | 50億2,538万円 | 県単独緊急防災・減災対策事業 など |
| 災 害 復 旧 事 業 | 11億6,907万円 | 災害復旧受託事業 など |
| 積 立 金 | 21億9,583万円 | 財政基盤強化積立金 |
| 貸 付 金 | 20億円 | 中小企業振興資金貸付金 |
| そ の 他 | 10億7,307万円 | 被災者生活再建緊急支援事業 など |
| 合 計 | 115億5,466万円 | |